



新年あけましておめでとうございます。
昨年中は格別のお引き立てを賜り心よりお礼申し上げます。
本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。



平成27年度インキュベーションセンター入居者成果発表会開催報告

平成27年11月30日(月)、当機構インキュベーションセンターにおいて、入居者の研究成果を広く周知するとともに起業化・事業化を支援するため、『入居者成果発表会』を開催し、約70名の方にご出席いただきました。

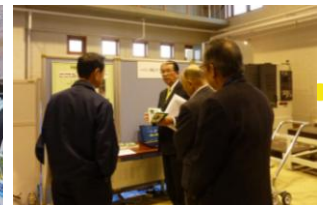
成果発表会では、現在、入居し「ものづくり」にいそんでいる8企業1個人の皆さんから、それぞれの研究開発成果について発表いただき、発表終了後、会場内の展示ブースにて、パネルによる詳細説明や開発製品等を紹介しました。参加者は入居者の研究成果に理解を深めていました。

また、各展示ブースには金融機関の方々も多く訪れ、「販路開拓」「ビジネスマッチング」に向けた商談も進められました。

成果発表会終了後、参加者と入居者の皆様による交流会を実施し、研究成果に関する情報交換や入居者同士の交流を図りました。

ご参加いただきました皆様、入居者の皆様、大変有難うございました。

当財団では今後とも、入居者を積極的に支援して参ります。



第2回 健康医療福祉産業創生フォーラム開催報告

第2回健康医療福祉産業創生フォーラムは、当機構と日本大学工学部工学研究所との主催、日本生体医工学会専門部会(Active agingを支援するバイオメディカル工学研究会)の共催により12月10日(木)に日本大学工学部次世代工学技術研究センターで開催されました。

今回は『ふくしま・郡山の未来を築く次世代ヘルスケア産業を目指して』をテーマに、健康・医療・福祉産業分野への中小企業の参入事例ほか、次世代ヘルス産業の動向についての講演がありました。

本フォーラムのコーディネーターを務める日本大学工学部 酒谷薫教授の挨拶のあと、3名の講師より現在取り組んでいる事柄についての紹介がありました。演題と講師は次のとおりです。

- ・「機械関連中小企業の医療・健康・福祉機器分野への参入状況と課題」
北嶋 守 (一財) 機械振興協会 経済研究所 次長
- ・「大阪大学におけるヘルスケア分野の産学連携研究と教育システム」
八木 雅和 大阪大学 国際医工情報センター 特任准教授
- ・「ふくしまヘルスケア産業プラットフォームの設立と今後の展開」
高荒 弘志 特定非営利活動法人 NPO ほうらい 副理事長



酒谷コーディネーターの挨拶



北嶋氏



高荒氏

ともに学び ともに笑った 2カ月

「マイスターズ・カレッジ」2015閉講式・交流会開催報告

当財団の主催で、日本大学工学部と県立テクノアカデミー郡山の共催により、10月5日より開講した「マイスターズ・カレッジ2015」が、約2カ月間に亘った座学と実習の両コースを終え、11月26日(木)に閉講式と交流会を行いました。

当機構インキュベーションセンター会議室で閉講式が行われ、柿崎隆夫日本大学工学部工学研究所次長、喜古克広県立テクノアカデミー郡山校長より、受講生代表者に修了証書が手渡されました。その後、会場を日本大学工学部内のスカイレストランに移し、受講生・講師などと交流会を行い、楽しく和やかな雰囲気のもと「マイスターズ・カレッジ2015」は幕を閉じました。



主催者挨拶：齋藤常務



集合写真

各フォーラムが一堂に集結 -第16回 産・学・官連携フォーラム開催報告-

11月25日(水)、日本大学工学部50周年記念館(ハットNE)大講堂において、第16回産・学・官連携フォーラムを『健全で持続可能なふくしまの実現を目指して-新設された3つのフォーラムの役割と連携-』をテーマに開催され、約150名が参加しました。

今回は、リニューアルした3つのフォーラムが一堂に集結。それぞれのフォーラムの概要を説明したあと、「産」を代表して東成エレクトロビーム株式会社 会長 上野保氏、株式会社資生堂リサーチセンター シニアサイエンティスト 谷田正弘氏、三菱商事復興支援財団事業推進チームリーダー 中川剛之氏の3名が話題を提供しました。

最後は、コーディネーターと上記3名の方々を加え、パネルディスカッションを行い、参加者らと意見交換をしました。

※3つのフォーラム：イノベーションテクノロジーフォーラム・健康医療福祉産業創生フォーラム・サステナブル地域づくりフォーラム



フォーラム概要説明：柿崎教授



パネルディスカッション



聴講風景



主催者挨拶：丹治理事長



主催者挨拶：出村学部長



来賓祝辞：品川郡山市長

平成27年度 第3回理事会開催報告

12月16日(水)に理事会が開催されました。

理事会では、本年度の事業執行状況について報告するとともに、今年度新たにに取り組む産学連携コーディネート業務等に係る補正予算やマイナンバー制度に対応するための規程制定など4議案について審議され、全議案が可決承認されました。



更なる企業間連携を目指して 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 第2回プレゼン会

12月2日(水)、当形成会議の更なるアライアンス(企業連携)を推進するため、プレゼン会(アライアンス会員の企業紹介)を行いました。

今回プレゼンした企業は、神田産業株式会社、株式会社吉城光科学、陸奥テックコンサルタント株式会社の3社で、会社概要や製品紹介、今後の展望などを発表しました。また、プレゼン終了後はそれぞれの企業と名刺交換や個別に商談するなど、企業にとって充実した時間となりました。

次回のプレゼン会は平成28年2月25日(木)を予定しております。



企業プレゼン



聴講風景

須賀川方部アドホック研究会Facebookページを開設

須賀川方部アドホック研究会では、会員相互の技術、情報などの交流と幅広い活動を通して、新技術・新商品・新事業の開発と新市場の開拓を推進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。会員は須賀川市、鏡石町、石川町などの企業が参画しています。

この度、同研究会の活動や企業の製品情報などを幅広く周知するため、Facebookページを開設しました。地元産業の振興のためにも、皆さんの「いいね!」をお待ちしております。

Connect 2015 in Koriyama, with UDC 最終発表会&審査会 開催報告

12月12日(土)、ホテルハマツにて「Connect 2015 in Koriyama, with UDC (アーバンデータチャレンジ)」最終発表会&審査会を開催いたしました。

当日は、学生や社会人で構成された5チームが、ITやオープンデータを活用した地域の課題解決を目標に、8月末から数カ月に亘り開発に取り組んできたアプリケーションを発表しました。

優勝の「郡山市長賞」は、消防団の活動支援アプリ「Ponpun」を開発した、Wiz Graduate (Wiz 専門学校 国際情報工科大学校・2年生2名と、卒業生2名)が受賞しました。おめでとうございます!

(郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会)



発行元 郡山地域テクノポリスものづくりイノベーションセンター

TEL 024-926-0344 FAX 024-943-4441 E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構/郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475 E-mail techno@nm.net6.or.jp

